

# ありがとう隊 新聞

また、去年の十一月から構想を練り、準備を進めて来た紅茶作りがついに出来、販売は六月十九日から開始しました。十二日は手摘要で収穫しましたが、天龍中学校の先生もたくさん参加してくれて嬉しかつたです。メディアにもたくさん取り上げてもらい、今後どのような展開を見せるのか自分でも楽しみです。

の良いスポットを再認識させてもらつたり、映える写真の撮り方を教えてもらつたりと楽しめています。

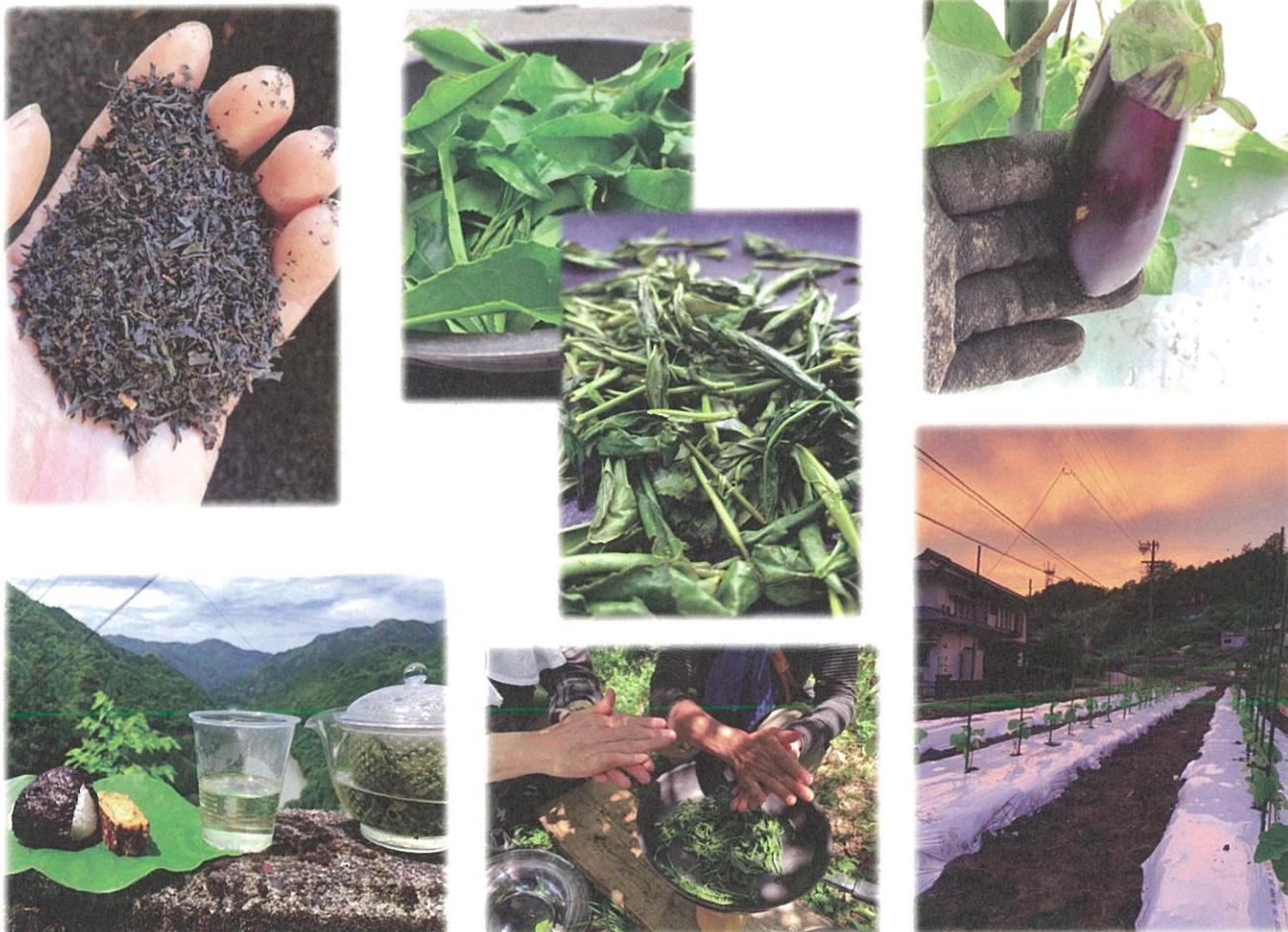


Vol. 98  
2021年6月24日  
編集者：篠田 大樹

## 五月からの活動 (文・篠田 大樹)

五月一日から始まつた茶摘みが終わると、お茶詰めに並行して、ていざなすの準備に追われました。雨も多くなかなか歩らない部分もありましたが二十二日に定植が終わり、六月になると小さな実も確認できるようになりました。七月に入ると収穫も出来るとと思うので楽しみです。

お茶は気になつていた在来種の飲み比べをして見ました。六種類ほど飲み比べましたが違いが意外とわかつて面白かったです。黄色っぽいのは苦味がある傾向がありましたが迷彩柄のようないかにも癖の強そうな奴が一番まろやかで美味しかったのはびっくりしま



まえだの天龍山暮らし～入門～ +



忙しい春が過ぎて急に暑くなり、最近も相変わらず日暮  
ぐるしい日々を過ごしています。  
協力隊の任期も気が付けばあと一ヶ月。7月いっぱいで  
任期満了です。  
思えば3年間、本当に好き勝手やらせて頂きました。普通  
なら煙たがられたり反対意見が出たりしてもおかしくない  
くらいに色々やつてきたわけですが、  
「よくやつとるに！」まあがんばれや。」とゆるりと受け  
流す天龍村の方々の懐の広さをひしひしと感じ続ける日々  
でした。

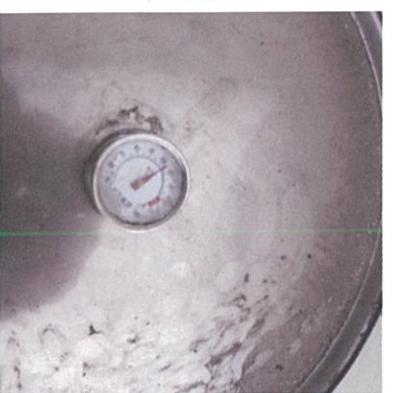
今だから言える正直な話、もともとは1年くらいでリタ  
イアする予定で気楽に始めた地域おこし協力隊でしたが、  
いつの間にか茶の魅力に憑りつかれ、居心地のよさもあり  
まって任期後も定住、独立して茶農家になります。  
協力隊を作った総務省の思い描く通りになってしまいまし  
た。

まだお給料を頂ける期間はあと一ヶ月ありますが、今後  
は前田がお茶で食つていけるか、引き続き面白がつて見  
守つて頂けると嬉しいです。

# 素晴らしい暮らし



ヤーベン



## 菌床の殺菌(100°C到達記念)

菌床 シイタケはやつと一ドラム缶分接種できました。殺菌時の火力管理（ドラム缶に菌床を入れ、焚火で温めた水蒸気で殺菌）や設備の配置など、見直しが必要な部分はあります、とりあえずスタートできました。接種時は雑菌の繁殖を抑えることがキーになりますが、まだ早朝は気温が低く、焚火の煤で殺菌・消毒も完璧（だと思う）のでできる限り接種していこうと思います。

たくさんの方々をして、いろいろ改善策を考える今が一番楽しい時期かもしません。

梅雨の時期になつてきました。昨年は長雨で作物には厳しい状況となり、虫や病気の防除を考えるうえで、農薬の使用回数や作用機構について勉強しましたが、今年は自己消費を主な目的とし、形・味が悪くなつても良いので自然任せでやってみようと思つています。

田んぼでは苗代に糲をまき、ビニールなどで保温しながら育苗した結果、思ったよりも生育が遅く一ヶ月半たつた今でも十センチほどで、田植えができる状態ではありません。梅雨明けぐらいにはヒエとの見分けがつくくらい大きくなつてくれるでしょうか。

あと以前記事でふれた『ヤーコン』が、すくすくと育つてくれています。収穫は冬なのでまだどうなるか分かりませんが、このまま無肥料無農薬で育ってくれたら私の主食になるかもしません。

# まつちゃんのホウレンソウ

報告者：松川友哉

「水無月」

（文：前川未来）

来月から「天龍村の歴史」についてまとめようと思います。

（記 大石 航平）

とうきお教す頃てたて。や  
陰え。かの勉配達だき  
少したの様で毎回配達を  
し、しで、よだいで外に  
頑張げつたりするため、  
今後はよく一日で同える  
いるようになることを  
目標です。



→今現在の梅ジュース。  
どうか美味しくできますように。

インターネットを活用した情報発信としては、地場食材を使用した料理写真の投稿、他の市町村の協力隊との意見交換を行っています。



六月は、畠の畠たてを行い、なす、トマト、ピーマン、エゴマを植えました。篠田さんの手伝いとして、中井侍の紅茶用のお茶摘みをしました。

## 日々こづしん



人生初めての、  
イチから一人で  
梅ジュース作りに  
挑戦中！

おまけ



## 「六月の活動内容」



雨の中ありがとうございました



村松久一さんにごあいさつ



味覚小屋の外観整備を実施



osamuchassy 週末はお世話になりました。  
ありがとうございます😊  
帰りの道でみなさんが草刈りしているのを見かけました。  
地元のこの様な活動のおかげで気持ち良くキャンプができるのだと感謝。  
ご苦労様です😊

1日前 「いいね！」1件 選択する メッセージ

お客様からのメッセージ

あれ：もう六月後半になりました。一八会と、ピカピカ大作戦に参加させていただきました。作業を見かけた、キヤンブ場のお客様よりメッセージをいただきました！（以下のコメントです）

●ご連絡  
夏から、キヤンブ場売店をオープンしたいと考えています。詳細が決まり次第、お知らせさせていただきます。

●ご相談  
もし教えていただけるなら：ホタルの見られる場所を教えてください。引き続き、宜しくお願ひします！

天龍村に来て早いもので、まもなく3ヶ月になります。役所をはじめ企業等では四半期毎の結果について報告を行う節目の月、という時期でしようか。自身に置き代えて考えてみると、やっと生活のリズムが落ち着き、今後やるべき活動の柱がぼんやりではあります。が見えてきたところです。さて、先月の「あらが隊新聞」に、一日一日が早く感じる云々、という事を書きましたが、ふと去年の今頃は何をしていました。今年は、昨年の手帳を引っ張り出して見てみました。事に感じた私は、「天龍村で生活するから」と半度、この時期に天龍村に来ていました。

昨年6月、ホームページ上で地域おこし協力隊の募集をたまたま目にし、直感的に天龍村が終の住処になると感じた私は、妻に「天龍村で生活するから」と半強引に説得し、二人でこつそりと現地視察に來ました。

当時は緊急事態宣言が解除されて未だ一月足らずの時期であつたため、村内を限なく見て回ることはできませんでしたが、羽衣崎橋から見た天龍川の雄大さに二人して目を奪われたのを覚えています。私は長年、「役職、肩書き、お金」に縛られない生き方を模索してきましたが、今、そのスタート地点にやつと立ち、動き出しているところです。前職を辞した時は、大きな決断だったと不安になることもあります。が、ここ天龍村に来て、自分らしいセカンドキャリアが見えてきて、今では間違つてない感があります。が、天龍村に来て良かったと毎日実感しています。

終わりになりますが、毎日、我が家から見る夕日は

プライスレスです。

縷々述べましたが、天龍村に来て良かつたと毎日実感しています。

